表丹沢方面：登山道補修隊

令和 5 年 5 月 21 日（日）

大山見晴台周辺

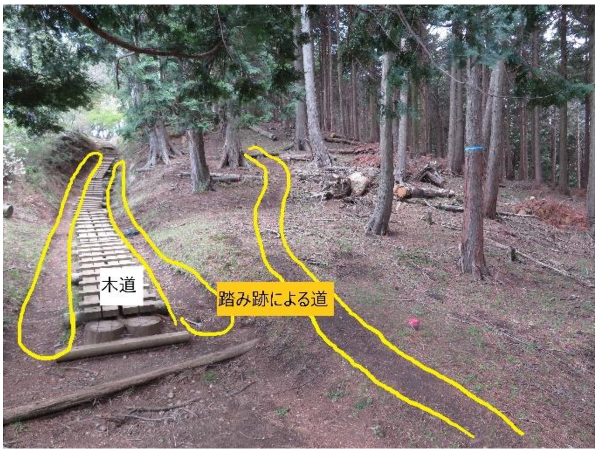
＜大山見晴台周辺の登山道の補修活動を行いました＞

●神奈川県自然公園指導員 10 名とパークレンジャー等スタッフ 4 名の計 14 名で、
登山道の補修作業を行いました。

●今回の補修個所は大山見晴台周辺です。阿夫利神社下社に集合し、作業工程の確認、準備体操などを行った後、2 つのグループに分かれ、道具を持って作業場所へ向かいました。途中霧が出てきましたが、雨は降らず、作業しやすい気温でした。（気温：20 度、12 時ごろ見晴台付近にて）

作業実施場所に向かう様子

●見晴台の周辺は踏み跡により、道が複数できている状態となっています。



黄色で囲った箇所が踏み跡によってできた道

●土砂の流出防止と植生の回復を図るため、倒木や落ちている枝を集め、踏み跡によりできた道に置いていきます。

落ちた枝などで踏み跡を覆う

●登山者にわかりやすいよう、『植生回復中』看板を設置し、補修作業を終了しました。

看板を設置する

●大山の登山者数は毎年 10 万人を超えていると推測されます。
一人、二人、三人・・・登山道を外れて歩く登山者が増えるにつれ、踏みつけられた地面から植物は生えてこなくなります。裸地となった道は植生の減少だけではなく、土壌の流失につながります。
多くの登山者が訪れる山であるからこそ、一人一人の「登山道を歩く」という意識がより大切です。